

第1部 特集 平成26年度のトピックス

1 足羽三山にて竹林の整備を行いました！

福井市民の憩いの場である「足羽三山」の自然環境を保全し、後世に引き継いでいくため、「足羽三山の SATOYAMA を守る会」が発足しました。当会の初の事業として、放置竹林の整備を行いました。



2 サイクルシェア社会実験を開始しました！

福井市環境推進会議では自動車に依存しない低炭素まちづくりをめざして、サイクルシェア社会実験を開始しました。**ふくチャリ**と名づけ、貸し出しポート11ヶ所にて、電動アシスト自転車34台（平成26年11月現在）の貸出をしており、市民、観光客の方などに、活用していただいています。



3 初のPM2.5注意喚起が実施されました！

近年、西日本を中心に高濃度が観測され、中国での大気汚染が原因のひとつであるとテレビなどで取り沙汰されているPM2.5ですが、福井県においても、平成26年2月26日に福井局で最高88 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を観測し、初の注意喚起が実施されました。

4 福井市ごみ処理基本計画の策定を行いました！

地震などの災害発生に伴う廃棄物処理の社会問題化、経済活動の活発化による廃棄物排出量の増加、再資源化率の低下などを背景に、平成21年策定の「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」を改訂し、「資源物及び廃棄物（ごみ）処理基本計画」を策定しました。



1 足羽三山 竹林の整備

竹林の整備

都市部にある身近な里山として、市民に親しまれている足羽三山ですが、所有者の高齢化や竹材の需要減少などにより、荒廃竹林が増えています。竹は繁殖力が強く、足羽三山の豊かな生態系への影響が懸念されています。そこで、カタクリなどの足羽三山の貴重な植生を守るため、「足羽三山のSATOYAMAを守る会」の主催により、広くボランティアを募り、足羽山及び八幡山にて竹林整備を行いました。



- ・参加者 80名
足羽三山の SATOYAMA を守る会の会員、ボランティア（地域団体、学生、市職員など）
- ・伐採本数 竹 約 120 本



竹のおもちゃづくり教室

「竹で遊ぼう！」

足羽山で伐採された竹（自然の中で生まれた材料）を使って、竹馬や水鉄砲などのおもちゃを作る教室を開催しました。親子約 40 名が参加し、なたや小刀の使い方を教わりながら、それぞれに好きなおもちゃを作成しました。出来上がった後は、水鉄砲で水をかけ合ったり、竹馬に乗ったりして、楽しいひとときを過ごしました。



「足羽三山のSATOYAMAを守る会」について

福井市環境推進会議自然創造部会において、平成23～24年度に福井市の自然環境の現地調査を実施したところ、足羽三山の竹林の拡大が明らかとなりました。足羽三山の竹林は、所有者の高齢化や、竹の需要減少により放置林が増え、豊かな生態系に悪影響を与えています。

そこで、足羽三山の自然環境を保全・再生していくため、賛同する事業者・団体で「足羽三山のSATOYAMAを守る会」を結成しました。



2 サイクルシェア社会実験の終了

平成 25 年 5 月 1 日より、福井駅周辺のホテルなどで、電動アシスト自転車の貸出を始めました。

「ふくチャリ」という愛称のついたこの社会実験は、車に依存しがちな福井のライフスタイルを見直し、車から自転車への利用転換により少しでも環境負荷の低減を目指そうというもので、誰でも利用することができます。中心市街地にお越しの際は、ぜひふくチャリをご利用下さい。



いつどこで借りられるの？

次の 11 箇所のポートで貸出を行っております。借りた場所以外のポートに返却することもできます。利用時間は、8 時～21 時までです。



<貸出ポート>

0. 京福バスケットセンター
1. ユアーズホテルフクイ
2. ホテルリバージュアケボノ
3. エースイン福井
4. 福井パレスホテル
5. アパホテル福井片町
6. 福井パレスイン
7. ホテルフジタ福井
8. ホテルフクイキャッスル
9. 福井フェニックスホテル
10. 福井市まちづくりセンター「ふく^{たす}」

どうやって借りるの？

貸出ポートの窓口（ホテルフロント等）に申し出てください。貸出の際は、身分を証明できるものをご提示下さい。伝票に氏名等を記入した後、利用料金をお支払いいただくと自転車の鍵をお渡します。

<利用料金表>

利用期間	利用料金	備 考
1 回	200 円	4 時間以内
1 日	500 円	当日中に返却
2 日	1,500 円	1 泊 2 日

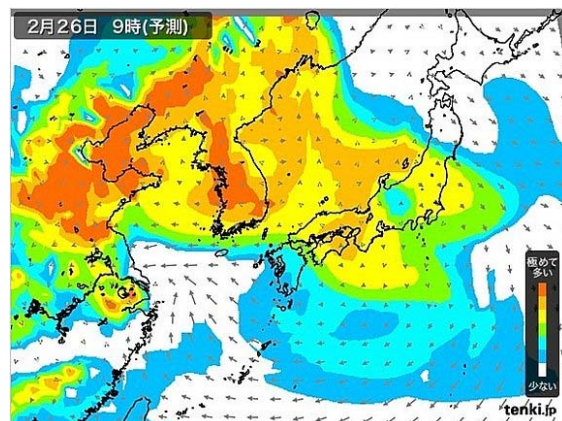


利用実績

平成 25 年度の総利用回数は、2,440 回。1 日平均 7.3 回、稼働率は 21%でした。利用状況を見ると、8～9 月の夏場および 3 月の春先の利用が好調でした。また、休日のほうが平日より稼働率が高く、ポートごとの稼働率に大きな差が出ておりポートによって利用しやすさが異なるようです。

3 初のPM2.5 注意喚起実施

平成 26 年 2 月 25 日から 27 日にかけて、西日本や北陸地方を中心に日本各地で PM2.5 の濃度が上昇しました。福井県でも、26 日に福井局で最高 $88 \mu\text{g}/\text{m}^3$ の濃度が観測され、初の注意喚起が行われました。当日は、市街地が白くかすんで視界が悪く、本市においても、広報車や防災無線などで市民への周知を図るなど、対応に追われました。中国からの越境汚染と国内発生が相まって、汚染物質が留まりやすい大気の状態であったことが原因と考えられています。



<日本気象協会：tenki.jp>

福井県での PM2.5 の濃度は？

福井局（豊島 2 丁目）の測定結果は次のとおりです。

年度	年平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	日平均値の 年間 98%値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	日平均値が $35 \mu\text{g}/\text{m}^3$ を 超えた日数	環境基準 達成状況
H25	16.5	44.9	19	×
H24	14.8	35.0	6	○
H23	13.5	32.6	5	○
H22	15.9	46.1	18	×

環境基準の達成とは、1 年平均値が $15 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ 1 日平均値のうち低い方から 98% に相当するものが $35 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下の場合です。

注意喚起されたらどうしたらいいの？

- ・ 不要不急の外出や屋外での激しい運動は控えましょう。
- ・ 屋内でも換気や窓の開閉は必要最小限にしましょう。
なお、外出する場合には PM2.5 対応のマスクなどをすると一定の効果が期待できます。
- ・ 呼吸器系や循環器系に疾患のある人や、小児、高齢者は体調に応じてより慎重に行動しましょう。

PM2.5 のデータを見るには？

PM2.5 の速報データはこちらでご覧いただけます。



環境省：全国の大気汚染状況「そらまめ君」 <http://soramame.taiki.go.jp/>

福井県：福井県大気汚染情報 <http://www.erc.pref.fukui.jp/tm/>

PM2.5 とは？

PM2.5 は、大気中に浮遊する粒子のうち、直径が $2.5 \mu\text{m}$ 以下（1 マイクロメートル (μm) は 1 ミリの千分の 1）のごく小さな粒子のこと。粒子の大きさが非常に小さい（髪の毛の太さの 30 分の 1）ため、肺の奥深くまで入りやすく、喘息や気管支炎などの呼吸器系疾患への影響のほか、肺がんのリスクの上昇や循環器系への影響も懸念されています。



<米国 EPA>

4 ごみ処理基本計画の策定

平成 26 年 2 月、「**おとましい**」を「**行動**」へ を計画の理念（テーマ）に掲げ、「資源物及び廃棄物（ごみ）処理基本計画」を策定しました。本基本計画は、平成 21 年に策定した「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」を改訂したものです。

改訂の背景と課題

- 【背景】
- 1 風水害や地震の発生に伴う廃棄物処理の社会問題化
 - 2 経済活動の活発化、家庭での分別意識の低下等によるごみ排出量の増加や資源化率の低下
- 【課題】
- 1 区域により異なる処理体制・分別品目の検討
 - 2 家庭系廃棄物の分別徹底と減量化
 - 3 事業系一般廃棄物の減量化・資源化
 - 4 ごみ処理手数料の見直しの検討
 - 5 新たな廃棄物処理施設整備の検討



計画の期間

本計画の期間は、平成 26 年度から平成 40 年度までの 15 年間です。ただし、発生量等の見込みについては、5 年を目処に、適宜見直しを行います。

目標 1 人 1 日あたりのごみの排出量

958グラム（H24年度）



900グラム（H30年度目標）

6%減量

基本計画の方針

